



『理系の職場』 こどもくらぶ／編 同友館

近年人気が高まる理系のしごと。1巻では、科学的な専門知識や技術を使って事件の解決につなげる「科学捜査研究所」のしごとを紹介する。

シリーズ17冊



『仕事の歴史図鑑』 本郷 和人／監修 くもん出版

江戸時代の消防士「火消」、飛鳥時代の公務員「官人」、平安時代の助産師「腰抱」…。暮らしを守る・ささえるさまざまな仕事がいっしょから始まり、変化し、受けつがれてきたのかを図とともに解説する。

シリーズ3冊



名作本だな



『黒おばさん』 クララ・フェヒナー／作 幻冬舎

黒い髪に黒い服の<黒おばさん>は、いつも子どもたちにお話をしていました。おばさんの誕生日の朝、インク壺の中から小人が出てきて、お花たちや、鳥たち、騎士、妖精のことを語りはじめ…。

©いらすとや

※本の紹介は、図書館流通センター「新刊全点案内」を参考

2026年 秋号 No.27

とっておきの1冊を見つけよう

5・6年生向け

王寺町立図書館

ぴっく
あっぷ!

『世界を変えた!日本の発明品 30選』

ルース・マリー・ジャーマン／監修

Gakken



レトルト食品、フリクションペン、点字ブロック…。

身近にある、日本生まれの発明品 30 点をとりあげ、発明のきっかけや誕生までの苦労、進化の様子、特にスゴいところ、世界での活躍を紹介する。

楽しい おはなしが いっぱい



『音符がいっぱい』 まはら 三桃／作 岩崎書店



おとなしくて目立たない男子の朝日が、音楽発表会で指揮者^{しきしや}をすることになった！先生と、頼れる女子リーダーの彩加^{あやか}と共に、音楽発表会の演奏を成功させられるのか？

『右手にミミズク』

たてない 夢内 明子／作 フレーベル館



6年生のタケルは、いまだに右と左の区別がつかない。右と左を本気で覚えてみようと思ったタケルの右手に、実里はミミズクの絵を描いてくれて…。



『イスタンブールで猫さがし』

新藤 悦子／作 ポプラ社



二色の瞳を持つ、トルコのワン猫に会いたい！そんな理由でイスタンブールへやってきた愛。ある日、日本人学校の図書室で、「ワン猫に会わせてあげる」というメモを見つけ…。

『まほろ公園で、ふりむけば』 藤重 ヒカル／作 偕成社



草を編んだお面をつけた人にたのみごとをされる「草のお面」、ペガサスに乗り、どこかなつかしい場所へやってくる「メメ」。ごくふつうの公園からはじまる、5つのふしぎなお話。

『ぼくのホームズは推理ができない』

緑川 聖司／作 金の星社



かぎのかかった教室に突然現れた北斗七星、夕方の学校で消えた教室…。シャーロック・ホームズの血を引くけど推理ができない宝城紗楽と、推理力ピカイチのさえない和戸尊がタッグを組んで事件にいどむ！



『ドラゴンを育てるには』

アンディ・シェパード／作 静山社



トマスのおじいちゃんの庭でとれたドラゴンフルーツから、小さなドラゴンが出てきた！ トマスはドラゴンを育てることになったけど…。

シリーズ2冊



図書館にはこのリストで紹介した本の他にもたくさんの楽しい本があります！